

小祭礼

諸沢事務所便り3

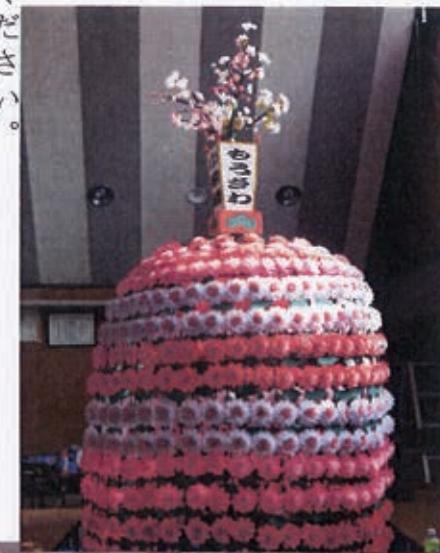
平成二十七年三月吉日発行

三月に入りました。気温も上がり、あちこちで梅の花を見るようになりましたね。いよいよ「小祭礼」です。七日には、「事務所開き」を改善センターで行いました。これからは、区ごとに役員が当番となり、毎日事務所に詰めておられますのでお立ち寄りください。

花籠の作成について

花籠については、前回作られた物があり、造花の花が色褪せにあるということから、手直しをするだけで良いのはどう考えもありましたが、他の三地域に負けない物で参加しようといふことや手直しするにも作り直しに近い手数がかかるとの理由で新しい物で参加することとなりました。一日から「高村定一」氏にお願いをして制作に入りました。

見人・鳴り物の係など（役員ではない「相沢英昭」氏も参加してくれました。）皆さん協力により、五日早に完成しました。予定通りに完成します。白い花も入り、行灯も一新しました。ホーリーに飾つてありますので、ぜひ見に来てください。



奉納の舞の内容が明らかになつてきました。

踊り手は、堀さんをメインにダンススクールに通う子ども四人。音楽「笙」が三人です。雅樂の音の響く中の踊りは、どのようになるのでしょうか。幻想的なものとなることでしよう。楽しみですね。

また、踊る場所も三カ所（小学校校庭・鏡泉院・十二所神社）となりました。都合の良い場所でご覧ください。

「三月二十九日「本祭」のバスの運行について

前回の「便り」でお知らせしましたが、当日の西金砂への往復バスの運行について次のようなことが分かりました。「一種類のバスが運行すること。一つ目が「諸沢事務所」で配したバスで、二つ目が「西金砂事務所」で手配したバスです。どちらにも乗ることはできますが、時間や乗降場所が決められていますので後日配ります紙をご覧の上、都合の良い場所や時間を決めてください。尚、定員才一バーで乗れない方が出ないよう気をつけたいと思います。